

学科 学年	M 2	科目 分類	数学 A II	講義	H21後期	学習教育 目標	担当	松澤 寛
			Mathematics AII		必修			2 単位
概 要	媒介変数表示された関数や曲線を解析する方法を学ぶ。その後、微分積分学のもう1つのトピックスである積分を学ぶ。積分では定義からはじめ、微分と積分は互いに逆の演算であることを示す「微分積分の基本定理」を学ぶ。また、積分の応用としてさまざまな図形の面積や体積を求める方法を学ぶ。							
科目目標 (到達目標)	媒介変数表示された曲線を平面に描くことができる。積分の意味を理解し、基本的な関数の積分ができる。部分積分・置換積分法を適切に使い、積分を求めることができる。図形の面積や体積を積分を使って求めることができる。							
教科書 器材等	教科書：微分積分 I (大日本図書) 参考書：新訂 微分積分 I 問題集(大日本図書)，新版 高専の数学 2 問題集(森北出版)，大学・高専生のための解法演習 微分積分 I (森北出版)							
評価の基準と 方法	試験(70%)・レポート課題(15%)・冬休み明け基礎学力試験(15%)							
関連科目	1 年の数学・数学 A I							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回	×	媒介変数表示された関数の微分 1						
第 2回		媒介変数表示された関数の微分 2						
第 3回		定積分の定義						
第 4回		定積分の性質						
第 5回		不定積分の公式						
第 6回		微分積分法の基本定理						
第 7回		定積分の計算						
第 8回		不定積分の置換積分法						
第 9回		定積分の置換積分法 1						
第10回		定積分の置換積分法 2						
第11回		部分積分法 1						
第12回		部分積分法 2						
第13回		分数関数・無理関数の積分						
第14回		後期中間試験						
第15回		三角関数の積分						
第16回		図形の面積 1						
第17回		図形の面積 2						
第18回		曲線の長さ						
第19回		立体の体積 1						
第20回		立体の体積 2 (回転体)						
第21回		回転面の面積						
第22回		媒介変数表示による図形 1						
第23回		媒介変数表示による図形 2						
第24回		極座標による図形 1						
第25回		極座標による図形 2						
第26回		極座標による図形 3						
第27回		広義積分 1						
第28回		広義積分 2 (ガンマ関数)						
第29回		演習						
第30回		×	学年末試験					
オフィス アワー	月曜日と火曜日以外の放課後における質問は事前にアポイントをとること。							
授業アンケ ートへの対応	学生のノートをとる時間をとる。ゆっくり話す。板書の早さに注意する。							
備 考	微分積分学は高専数学の中で最も重要な科目といって過言ではない。微分積分の理解が不十分のままだと、数学のみならず専門科目の理解にも影響が及							
更新履歴	20090327 新規							